



あやめだより

平成30年5月号

子どもたちへ声援と拍手をよろしくお願いします

長岡南小学校長 勝呂 義弥

PTA総会、家庭訪問、引き渡し訓練等にご協力いただき、誠にありがとうございました。お陰様で、平成30年度も順調にスタートすることができました。また、今月末に迫った運動会には、応援をよろしくお願いします。

近年の異常気象から運動会当日の天候が心配されます。雨はもちろん困りますが、夏日のような暑さも困ります。みんなの願いが天に通じ、爽やかな清々しい五月晴れに恵まれることを願っています。

運動会では、子どもたち一人一人が、きっと素晴らしい光り輝く活躍を見せてくれることでしょう。5月とは思えない厳しい暑さの日もあります。汗を流し、ほこりまみれになりながら練習したこともあります。その成果を一杯発揮することを期待したいと思います。

高学年では、種目だけでなく係活動の仕事に一生懸命取り組む姿や下級生をいたわる姿が見られることでしょうか。特に、6年生は小学校最後の運動会です。自分の学年の種目は勿論のこと、チームリーダーとして、仲間と心と力を合わせた活動を期待します。また、1年生は小学校初めての運動会です。最後まで元気に、笑顔で、全力で走り抜いてほしいと思います。ご家族・地域の皆様には、早朝よりお出かけいただきます。PTAの皆様には、準備・片付け等にもご協力をいただきます。長岡南小の運動会は多くの方に支えられた中で実施することができます。最後まで子どもたちの競技や演技に熱い声援と拍手をよろしくお願いいたします。



繋がることの本当のよさ

学校は地域や保護者の方々から、たくさんのご支援をいただいています。運動会もこの支援なくしては実施できません。先日は、図書ボランティアの皆様にご来校いただきました。また、日頃から交通安全や挨拶運動など様々な地域の方にお世話になっています。

こんなお話をしてくださった方がいらっしゃいました。「子どもたちのために自分たちができることをしてあげたいですね。子どもたちの明るい笑い声の中で活動しているのは、私たちにとってもうれしいことで励みになるんです。言ってくれば、できる限りのことをしますよ。」と、本当にありがたい言葉をくださいました。このような繋がりが子どもたちの心の醸成にも繋がっていくように思います。

保護者と担任は、最も太い繋がりがが必要です。保護者と担任が同じ方向を見て、子どもの指導に当たらねば、その成果は期待できません。しかし、現実はその関係が遠い場合もあります。学校や教師の指導に疑問を感じることもあるでしょう。しかし、互いの願いは、「その子よりよい成長を支援すること」で必ず一致するものです。疑問や要望がありましたら、是非、担任または教頭・校長へ直接伝えてください。そして、繋がりができた時、指導の効果は間違いなく加速することでしょう。保護者同士も同じです。子ども同士のトラブルが発生したとき、自分の子どもと同じように、よその子の成長を願うことは、前出のボランティアさんの思いに繋がるもので、子どもたちの心の醸成になると確信します。

しかし、現在はこんな繋がりもあるようです。それはLINE(ライン)です。安易に繋がるもので、子どもも大人もこの渦に巻き込まれている人がいるようです。他者とのつながりを求める一方で、対応に苦慮している人も多いと聞きます。「自分は仲間からどのように思われているのか、外されたらどうしよう」と悩んでいるのです。これは、本当の繋がりではありません。子どもも大人も自分のことだけを考えるのではなく、相手のことを思いやることで繋がる、「心の繋がり」を求めてほしいと思っています。

